

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター鶴間会館管理運営委員会 会長 山田 祐二
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
鶴間	333	3,909	678	404	5,324	18	305

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
春の工作（兜のリース）	4/12～5/5	8人
母の日プレゼント工作（カーネーションのカード）	4/23～5/8	13人
父の日プレゼント工作（てぶぐるみの猫とカード）	6/4～19	17人
七夕のつどい（ミニプラネタリウム他）	7/7	67人
夏の工作（モビール）	7/26～8/23	23人
夏休み共同制作（ヤマトンの阿波踊り壁掛け）	7/21～8/30	23人
避難訓練（地震を想定した訓練）	8/5・2/8	10人・9人
夏の怖いおはなし会（素話・絵本の読み聞かせ）	8/24	17人
敬老の日工作（カードホルダー）	9/7～14	19人
秋の工作（タオルで作るウサギ）	10/12～11/6	20人
コミセンまつり	11/19	345人
クリスマス会（ビンゴゲーム他）	12/13	65人
書初め（指導ボランティア：鶴間書道会）	1/5	8人
バレンタイン菓子作り（クリスピーチョコボール）	2/12	8人
ひなまつり工作（折り紙で作る吊るし雛）	2/15～25	9人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,166,449
雑入 (預金利息等)	11	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	126,040
収入計 (①)	2,514,011	支出計 (②)	2,292,489
収支決算	221,522		

※収支差額 221,522 円は、平成 29 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 利用者アンケートでは、スタッフの対応については、前年に引き続き回答者の 100.0%が「よい」～「ふつう」との結果が出ており、高い水準を維持している点を評価します。また、利用者の人数が前年度比 123.7%と大幅に増加したことはサービス・事業運営共に成果を上げていると見られ、今後も成果のあった取組みについて振り返り、更なる発展に活かすことを期待します。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。特に近隣小中学校のまち探検や施設見学、職場体験学習に協力し、地域の青少年健全育成に貢献している点も評価します。 工作の制作では様々な素材を使用し、素材の特性を学びながら作業する等、利用者を飽きさせずに創作意欲を持たせる取り組みをおこなっている点を評価します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 生活指導として、物を大切に扱う事や片付けを習慣化する等、継続的に利用者と向き合い環境向上を図っている点を評価します。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。